

第4回 設計ワークショップ [まとめ]

2019 11/30 土

Think

市民利用スペースの使い方を考えよう

●第4回ワークショップの概要

今までのWSで行ってきた範囲が描かれた平面図（1階～4階）をもとに、具体的に何をしたいか、どのような設備が必要か外構計画から建物内部に至るまで網羅的に考えました。

●ワークショップの流れ

1. あいさつ・前回のWS・KM・UDレビューの報告・まとめ
2. 市民利用スペースを考えよう
3. 事例紹介
（ひろば、マルチスペース、多目的室、印刷作業室等）
4. グループワーク
5. 発表のじかん
6. さいごに



グループA・B



■ひろば・駐車場について

- ・動線に沿うような位置にベンチが置いてあるとよい。
- ・桜の木の近くにベンチ・テーブルがあるとよい。
- ・ベンチは冷たくないように天板は木が良い。
- ・車椅子駐車場から入りやすいエントランスにして欲しい。
- ・親水ひろばは、危なくないように丸みを帯びたデザインがよい。
- ・ウェルカムひろばへの入口があると良い。
- ・敷地内は段差なく緩やかな勾配としてほしい。

■屋上について

- ・シニアが遊べるスペース。
- ・芝生だけではなく、デッキがあるとよい。

■その他

- ・防災備蓄倉庫は4階ではなく、1階の方が良いと思った。
- ・職員が働きやすい環境づくりも必要。（しっかりした休憩スペース）
- ・各所に溜まりのスペースがあるとよい。

グループC



■ソフト運営について

- ・利用できる時間に合った運営手法の検討が必要だと思う。
- ・夜間、屋上のセキュリティを確保してほしい。
- ・市民利用の多目的室以外の会議室も開放できるような柔軟な運営。
- ・部屋の借り方や予約方法の工夫があるとよい。

■設備的なことについて

- ・誰でも使える大きな給湯スペースがあるとよい。
- ・2階の多目的室も1階の多目的室のように運動等で使えるとよい。
- ・子どもが利用するコルク敷きの部屋は調理室と隣接させるとよい。
- ・軽い運動ができる部屋があるとよい。

■屋外について

- ・桜を線路側に寄せるなど、広場を広く取れる工夫を。
- ・親水ひろばは、水に入れる設えに。
- ・雨の日でも使えるテラスがあるとよい。囲碁・将棋ができるテラスがあるとよい。遊具や健康器具が設置してあるとよい。

グループD



■ひろばについて

- ・“親水ひろば”と“こどもひろば”は、舗装材を自然になじむような色とするなどして、一体感のある雰囲気だとよい。
- ・親水ひろばは、自然を体感できる設えだとよい。
- ・運営は、環境市民団体に携わってもらえるとよい。
- ・こどもひろばは、でこぼこな丘や自然の風が感じられる場としたい。

■屋上について

- ・ラジオ体操ができるとよい。また、時計塔（小金井のシンボル）や、屋上から何が見えるかわかるサインがあるとよい。

■市民利用スペースについて

- ・1階庁舎共用部は、外のひろばを見ながら勉強ができるカウンターがあるとよい。
- ・デジタル情報案内板を設置して情報がすぐわかるようにしたい。

■印刷作業室について

- ・「つながりの場」として、オープンでだれでも使えるとよい。

グループE



■市民が利用するためのソフト運営について

- ・毎週〇曜日はイベント開催という企画をたてる。
- ・季節ごとにライトアップイベント等、目玉をつくる。
- ・駅など人目につきやすいところに告知を出して市民に周知するための仕組みをつくる。また、動画配信などで現在のイベントや混雑状況などを共有できるシステムをつくる。

■市民利用スペースの使い方、運用について

- ・屋上では、天体観測、夜の演奏会、お月見等ができるとよい。
- ・民間企業に小金井市が展示会などで場所を貸し出すとよい。
- ・演劇イベントや合唱練習などで使えるとよい。
- ・勉強・イベント利用での時間ごとの区切りを付けるとよい。
- ・自転車用の貸出バッテリー場所を設けてほしい。
- ・屋上にいくまでのアプローチを、賑わいある・雰囲気のあるものとして演出してほしい。
- ・本棚や小さい図書スペースを設けて、勉強スペースとするのもよい。